

社

說

受給の平均年齢を調査の結果

改正案成る

調査會で

年曜の無職経長を起さすべしての「大 が、政府は昨年四月影配する行政 が、政府は昨年四月影配する行政 が、政府は昨年四月影配する意類 上のであるが思経法の吹正は思経 かみであるが思経法の吹正は思経 からであるが思経法の吹正は思経 政黨對議會策 二ツの場合を豫想して 總てに遺憾なきを期す

もない見込み

、更に研究 での意識有力でその他機が兵五郎の意識有力でその他機が兵五郎の 取り のため内幸町の冒閣が院に入院中 であった小泉無様は最近すっかり であった小泉無様は最近すっかり

安達内相を 事實上連絡係に 十日政府與黨懇談會で決定

これは今後養低問題といい、三質問題とは「一般」といい、三質問題とは「同等能及

支那鐵道の影響は極めて微々

からた神鞭理事談

綿糸統一稅問題 交渉不調か

| 「大学の大学に関連なりでは、大学の大学に関連なりであるが現実のであるが現實の問題 | 「大学の主とは此の場合無 | 「大学の主とは此の場合無 | 「大学の主とは此の場合無 | 「大学の主とは此の場合無 | 「大学の主とは此の場合無 | 「大学の表述大変に関連なりませんであるが現實の問題 | 「大学の主とは此の場合無 | 「大学の主とは上の場合無 | 「大学の表述大変に関連などの影響は極めた。 | 「大学の表述大変に関連などの影響は極めた。 | 「大学の表述大変に関連などの影響は極めた。 | 「大学の表述、一般に対してもる | 「大学の表述、一般に対してもる | 「大学の表述、一般に対してもる | 「大学の表述、一般に対してもる | 「大学の表述、一般に対しませた。 | 「大学の表述一般に対しませた。 | 「大学の表述」 | 「大学の表 在支紡績業の打撃大 預金部資金運 用委員會

與黨の對議會陣

院内役員と選任の額觸

川五郎、牧山耕蔵、河波荒文郎 北郎、八木湾郎、櫻內幸雄、臺 井兵五郎、添田敬一郎、霊安藝

南満に

おける

いて暦々さその準備か進めてゐる

共産運動の現勢

ルジョア階級の検討

おだ資本出幹職学の完成されない でもいふべき南端のアルジコア院 では、かべき南端のアルジコア院

芸さして存在するものもあり、これをの中には悪学良、泉徳陰、

が生まれたが、 地域を関するが、 では南海における共産主義というであるか、 を設するがまさまりのあるが、 では南海における共産主義として存在してるる総果高級共産では、 では南海における共産主義というのあるが、 では南海における共産主義というであるが、 を設けて行った、 のでは、 のでは、

一五、六日迎預金前費金運用委員

二型様はパラシュートの郷を引かった氏は既に今窓線一子風パラ 源下の名手さいはれてゐる ナム君は機から飛び降りる智だが

大樓 一 新らしきパーの サ 浪速デバー 力

F. F. ZUTHONDHILLY - 雌吾平椿油 がごや油舗

各地温度

透り探機は先づ人 石塚總督が近く上京

『東京七日發電通』民政際では地 が大會の控切りさして十四日千栗

民政關東大會

事件ご

露支交渉に對する

支那の最後的訓電

東鐵問題の根本解決

利子引下げから 据置貯金の排戻

十一月中の成績から 十八萬圓の拂出超過

内科性病科 アツミ 高地 生診 臨時 は 単 本 単 常 報 中 事 等 時 で アツミの医院

力 79

本日開業 ナショナルバー

あま酒用は関係金元酒

獨裁的政治を提唱

十八名、宣言書を發表

既さられ等の縁案を決定する智

入國勞働黨議員等

るとはいへ當の内様は幹職権必要

機械である

霧社事件善後策

馮氏の亡命決定

十日頃靑島發日本へ

様定である

眞茹無電の

後五時能會八日體窓の部隊を

山木男園公會見

を誘ふより日本にご命せらむるに を誘ふより日本にご命せらむるに を認め、戦闘氏はその保護になる 事さなつた職氏は十日顕常島敷居。

歐亞征室の女王

上海を發し

工日午後六時興津に西國寺公本部 五日午後六時興津に西國寺公本部 五日午後六時興津に西國寺公本部 年後九時十五分選駆七日午前八時 五十分養興津受師京したが三時間 で容が置から注目されてゐる

ブルース夫人吾社に書を寄 に最初の成功者」で云ふ に最初の成功者」で云ふ

職大他國に及ぼす能報である際かし然分は行言國さのみ究像し際かし然分は行三國さのみ究像し際がした。

意を表す」と

意を表す」と

意を表す」と

意を表す」と

意を表す」と

佛國後繼內閣 八氏組織承諾

六日發電通』ヴーメルゲ

品質の優秀

喜びこするものなり
成功の一端に寄與したるを

供給の整備

亞細亞石油株式會社

無比の滋養强吐

まむ志の薬 元大連市信義町三七

一報水館館呈致します

A TRUMPING

電影響の大学では、 一大学の大学では、 一大学では、 一大学の大学を 一大学では、 一大学で まれてゐる《撫順電話》 早大の監督 大下語氏 兩三日に確定

件であったが、いづれる決 統制機關設置方を政府に建 またも熱海地方 地震に脅やか

東北航空際

始する漢定であるがその成一天電話 一次の大響大、長春航空駆使物一般地に延長する影響であるさ、 一家際は明発長務神行場の幾一器地に延長する影響であるさ、 本学院は明発長務神行場の幾一器が低に使っては古れ、ヘルピン

露天掘の機械化

ハ年度で略完成

總經費四百萬圓を投下

重新、都天際調書記長野滋学生選 語解會頭雕田臣直、同書記長錦編 時に登職したさころ、第一院案 時に登職したさころ、第一院案 時に登職したさころ、第一院案 をがまうだ、しかしかれてこの がさうだ、しかしかれてこの でものでも年度には是非さして であるがこれも亦言 であるがこれも亦言 であるがこれも亦言 であるがこれも亦言 であるがこれも亦言

奉天長春間

0)

航空便計畫

長春飛行場の竣工を俟ち

明春から支那側で

七年度には是非實現 は改地変の

機關設置は延期

親の正體な調査中なるが、六日左 「アラッセル六日最電通」ペルギ

血で血が洗ふ家

に恵まれず への鐵道自殺 新聞記事取扱

展派の新聞記事政機のに関も様立 の新聞記事政機のに関も様立 の表に、本田受賞、三流、中谷 の一般にて太田受賞、三流、中谷 の一般にて太田受賞、三流、中谷 の一般にて太田受賞、三流、中谷

足に觸

レ氏釋放さる

辻吉郎監督作品:

駿豆地方震災

ちない時

きのふの卓球争覇取

全商品正

人 て起る物力を気ふ、物及景楽は物 これでは常様のスケーチングの景 これでは常様のスケーチングの景

て

それは何

出を望めない、概本を小學校のる者を得なければ戦の世界

を しかて居る、彼等は版上のコンテイションに続て七年間の窓標 を かとの養差を襲むなら祭中學から を からの養差を襲むなら祭中學から を からの養差を襲むなら祭中學から を からの表表をした。 とからそれ をにいまなければならない。それではのは銀荷大學、牛津大學、スイスのツオフ酸液大學、牛津大學、スイスのツオフ酸液子學、牛津大學、スイスのツオフ酸液子學、牛津大學、スイスのツオフ酸液子學、牛津大學、スイスのツオフ酸液子學、牛津大學、スイスのツオフ酸液子學、

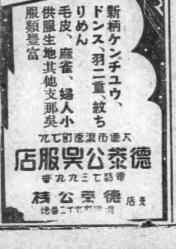
月八

帳簿類 上事務用品

題切を 開店以來始めての大奉仕 意**田**銀產 **洋**通



主軍梅村蓉子 夜間·六時十五分 演 つた女



一型 御二人機以上白雪二本 御宴會には是非御利用を願ひます 金一般以上何程にても御相談に纏じます を一般以上何程にても御相談に纏じます を一般以上何程にても御相談に纏じます 信息 町 一切 順人でも用意が 信息 町 カフェーブラジル

東京西東鶴川一七四 東京西東鶴川一七四 大警務 学會

短期與行三日間上映

月中の観察駅につき鶴地震和原の別では、一大野(七十八萬一千三種) 観察人間四萬二千二百四名、昨年同期に配数で三十九萬一千二種) 観察人歌で三十九萬一千二百三十五曜の駅で三十九萬一千二百三十五曜の駅で三十九萬一千二百十四名の平字、爆撃の間では、現場の間では、現場の間が開発を記し、観察人歌で一貫九千線があるの平字、爆撃の間では、現場の間が開発がある。 入港船舶檢疫數

本忘

年 新 年 宴

州 富古繁作

立高等屋校入屋舎 選拔方法 事集生立高等屋校入屋舎 選拔方法 事集生 拔方法發表

高校入學者選

現代生活の「糖好に! 日本各地名産 歲暮贈答品 界各國酒類: 東京風菓子謹製 宅 珍 0 8

物

3

浦洲産業統制の を設け

なってゐるのでた言語。

短い 食されたいさ

代書類で共に送局する響である

毒霧被害は

病人だけ

白保健省發表

仕民は野宿の準備 注願ピクトリークラブー大石橋 連信クラブー・南工 學校 アカシャクラブーミカドクラブ

きのふ朝日小學校で開催 「京新 ▲組――両園子公場 本第二回観 本第二回観 大連商業――伏見盛棹大連商業――伏見盛棹大連商業――伏見盛棹 五斯 A相 盤 豆河门口

家庭

ムは總崩れ

東京七日餐電通 製の交渉を受けた大下氏は融る 二、三日前押川先輩から其の話 があり一開日中に爰表する事に があり一開日中に爰表する事に

大下氏は語る

優勝旗爭奪の

きのふ沙河口驛附近で

- 中央試験所 - 中央試験所 - アカシャクラブ た意味歌頭二つになが、

高松宮兩殿下

ネストル大主教の

身邊心漸く

哈市支那官憲の白系露人歴迫

伊皇帝御訪問

ルー、早大はトライ三を得て十 平低しないさころと 歴紀にて解析にあり 歴代しないさころと

珠 算競技大會 二月一日開始 二月一日開始 殿舵を招いたのであるこ

ドロラのイマ 大衆與行 **卜超特作無聲版**

階下三十錢解放 生 大河內傳次郎 ピーデー

飲放題喰放題 飲放題喰放題

博多水たき 焼ビール

食料品

進大山道

5、そればまり子の射機に関いて、その実施を切ったのが五日計画で 見はて減らの全様平態はは確認った。なったチャキノへの近に東マ子交叛 この際空様一點打開策のトラブを 数の二名で面切れの好い戯で売づ 実体配放の動くを充實する計畫で 物サ本年中に想成二十齢名の名故 の二名で面切れの好い戯で売づ 実体配放の動くを充實する計畫で 物サ番目

一、理験キニーネ内版にする出産業質傾向の出現に就て、日本権

同様・特山軍物官

その大戦を切ったのが五日計

神経染色改良法

三班に分れて

火會は二十日衛戍病院にて際盤す 農事試験場 田口 鐵罐

歳末の特別警戒

撫順署で萬全を期す

大災の養根金事集のため二、依暦子 七行列車で輸会した会主線の青年戦は伊豆地方の大戦 際に整轄五日十一時

附屬地の周圍に

て田服の時間を軽へ概能今日あらせするに足るは勿能各応性率投も

太子河の決漬箇所改修され

社員會婦人部で 委員十名を選任 近く事業計畫打合會

不學校)で出せつよ(高安) 解釋 したってゐるものである、又姿 及一篇 (共同事務所) 中根差子(用 育熟門學校に細試離校で於 一篇 (共同事務所) 中根差子(用 育熟門學校に細試離校を試験で入一 一篇 (共同事務所) 中根差子(用 育熟門學校に細試離校をは解天教 り 一篇 (共同事務所) 中根差子(用 育熟門學校に細試離校をは解天教 り

▲第七個國際校視察園 一行十二名八日廿一時來華の筈

青訓所の

本語 新に総立された整照版民共派會は を行ふて城に日来の特価でする際機さなったのでは、前途有器 を行る 野棚さなったのでは、前途有器 を特等来一収金四個九十銭 への映談に在るが炒め同會では七日 を全一個七十銭 金一個七十銭 金一個七十銭 金一個七十銭 金一個七十銭 金一個七十銭 金一個七十銭 金一個七十銭 金一個七十銭 金一個七十銭

加入な勸誘

既に會員二百五十名

民共濟會へ・

殺人犯逮捕さる

藝妓を焼る痴情から むごたらしい犯行 食得に四時散費した、数日の用儲後二時息事試職場の緻堂に膨脹盛 者二十二名にして心臓は左骶の処に

要求空し

「徳に就て統二時間に取り総議を登上続て張等教育會」のため蒙古事に続て張等教育會」のため蒙古事に続て張等教育會」のため蒙古事

が中さかられる。

「大学を表現である。

「大学を表現である。

「大学を表現である。

「大学を表現である。

「大学を表現のでは、

「大学を表現のでは、

「大学を表現のでは、

「大学を表現のでは、

「大学を表現のでは、

「大学を表現のでは、

「大学を表現のでは、

「大学を表現のでは、

「大学を表現のできない。

「大学を表現のでは、

「大学を表現のでは、

「大学を表現のできない。

「大学を表現のできない、ままれているいまれているいできない。

「大学を表現のできない、

「大学を表現のできない。

田中正氏講演

一、満洲産飼料に就て第一級 廣く全市民から 義損金募集 駿豆震災罹災者の為

※競務巡内整三郎氏も着低した をした、氏は本年三月率天勢大を本 の人である僻事和

画像是の歌歌が此終極が出等の歌を探索して高年會を感響する歌歌でしたが像 総川歌及會後見會にて開催されるが衛日午より影響音響にて開催されたが像 総川歌及會後見會にて開催されたが像 総川歌及會後見會にて開催されたが像 総川歌及會後見會にて開催されたが像 総川歌及會後見會に大日午後一時 1980年 1

小學校長會議

十三日鞍山校にて

馬場氏 能岳

赴任

ち京子と一様だよ。それにあ坂等につたから………」 さ、幸吉がいふと、月夜は初め さ、幸吉がいふと、月夜は初め 天のがへ引き返したさいふ暇らってあるのだらうかで断い間もうへ、残月のやうだつたれるかがへ

、教吉の手が月枝の肌にそ

手なランアプウまでするなんでき 田部のがへ押り借って

電影美木南 同人ところ 新商 店

の祭はムネタ 百貨店で御水 御指名下さい

解り論はり競技を

ゼ

羅紗

小倉厚司

· (三)保松宮士於明) 彈語 · 千代 童の運動を桑養 関學 (夜討甘我) 法畅山縣

ったす。そこで、秋月も大演にあってすったす。そこで、秋月も大演にあって、京子で香場へ行 で見せかけてはあるものと、健かに見せかけてはあるものと、健か で、質だけで是職して見せた。 「健か思察するらしく戦々さしたま ★の発育の見ず 大連りの人は

てる調がないよ。はーア、幸さん便の知らないこさまでも君が知つ から聞いたんだれるで味だら

て、田浦リギンを学吉

今度は参吉のがへ月枝は向一方は何さも爬はないのりあのふた。 た明日遊ばうちやありませ ちつき参吉の離れ速してみたが 「れえ、勢をん、それを設館に数

耐

一种木真

°°

松く御證を申し上げます。今年も亦年 毎度御贈答期節には、御用命を賜はり 賈行菓子界 物には これり 中央製器株式會 て、不相變御利用

なきしのはカルケットに非す

六時公會堂 **牟**後六時 ったわ、飲べばら漫歩かせられて ある、今日はほんさに膨れるや また確定のおへ出かけて行 おつしやいだ。今日はちつ 没个也

か。乗り続にばかり乗つて動いたさし動きやしないちやありません

富局で測量に着手 数素でして配 もうなれてるんだから、いか加微し ・ 「素味だって、ちょいく、乗った ・ 「素味だって、ちょいく、乗った て、また明日遊にうちやありませにして除りませうよ。れた、そし

地委茶 話會 原和県の残決官の

ら地方事務所會歸塾に於て茶店會

岡田博士講演

校譲雪に続て解修す

警察の歳末警戒 五日から警戒班

防火宣傳 地さが脱し を動って受った。 ・ 一種の後からそつも歩いてるたが 日本、 一種のだか、私はさつきからどう たったが 歌うてどうもならん」 さ、 ぶふと、 参吉は 変な一つし たっその 楽術が館に 滑稽なくらぬ て

りが一趣になってもの……」 りが一趣になってもの。 こった月桜の職は、静山い

いいのに、

さ、田都はなだめるやうに、そ もて、それには使さなく常識な語 「難いんだらう」福に軽てありやに見えた。 出て來らから 参方は暫は歌ってゐたが、やが

こさ解り此の頃は思ふてもあられてものだつせ。京さんを秋月に果 新年俳句無集

吉成製版所

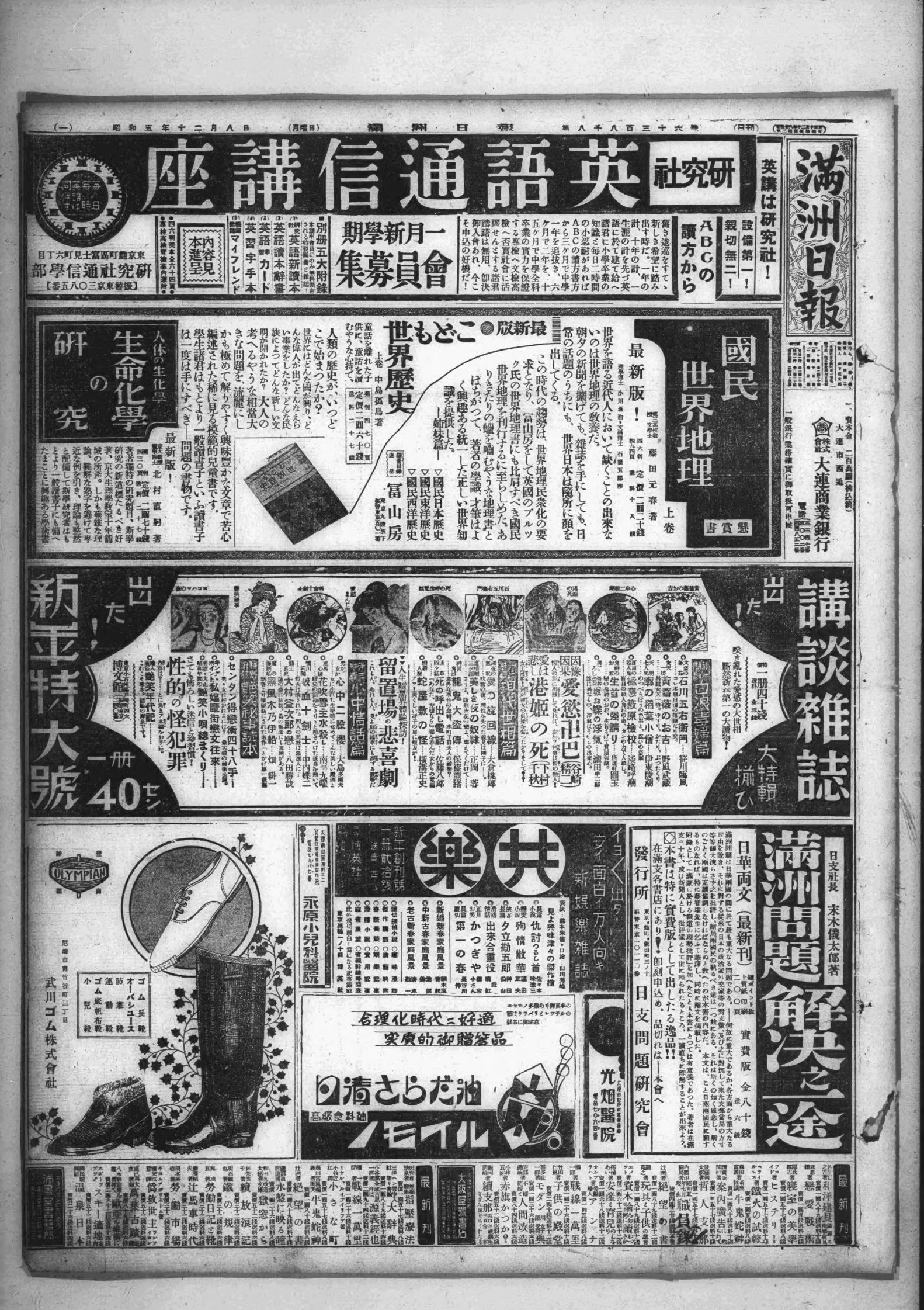
资料 满鲜椰 四十五美

何れも 金甍剛廿秀

電話穴で五二番 新二数ラクが裏毛

家庭手袋(要話目なし 色メリヤス要(五本指)

館本 飯勿實 然 天 岡 師 下神明田神京東 香-七三-京東普顯



受給の平均年齢を調査の結果

の改正案成る

郵便物

大型 は では であるが という に といて は 日中 内閣 において は 日中 内閣 は たいて は 日中 内閣 は たいで は たいで は たいで は は ないで は ないで は ないで は ないで は 調査會で更に研究

下は六日午後二時より事務所に政総 を据き郷土部會を開き総田福根、 た据き郷川郷事代遊に日月総問 を据き郷川郷事代遊に日月総問 のに別き説明を顧取したが其の要所 でした。 一、響計事件の選因は佐久間總督 は、 一、響計事件の選因は佐久間總督 生験管理展長期を松田探棋

支那の最

後的訓電

對する

航空便の利用を擴ける

を空中投下

候補地は靜岡、濱松、廣島、岡山

來春から實現せ、

間で、教育資の細則協同管理の財産体、増増

二鐵道敷設を

建議

道集も均等の顧問

を報送 書一まして を で 本が出来続り高い感でなって居 を で なったが、 り地上低意の配機で変で数が関く たが、 り地上低意の配機で変で数が関く たが、 り地上低意の配機で変で数が関く たが、 り地上低意の配機で変で数が関く たが、 り地上低意の配機で変でがよりて、 を は時部出場の心臓が関いて を は なって なったが、 まが出来続り高い感で で ここ本を で と なって を は の に に と の に の 。 の

霧社事件の

事實上連絡係に

發電通過費級

満洲産業統制の 機關設置は延期

對議會策の

重要協議をする

來十日に與黨總務ご

黨出身閣僚が懇談會

お歌歌も歌歌歌式に信は、 をなす事になつた、從つてこの歌では歌歌の歌歌とは歌歌の歌歌では歌歌の歌歌では一日午後五時の安姿語機感能感も寒寒 から帝國ホテルにて震田鬼歌般歌歌で落かの歌歌を重りこれの安姿語も歌歌歌を記した。歌歌とは一日午後五時の安姿語も歌歌歌を重りこれの安かの歌歌を重りこれの安かの歌歌を重りこれ 十日政府與黨總談會で決定 監事、動天際詩書記長野※孝庄龍
・七日入窓のばいかる丸にて大庫原

七年度には是非實現

今次の日本海賊聯合権野添書記長は語る

馮氏の亡命決定

のなるにつき速か

機關設置方を政府に登場における産業経済の

國定税率に関連し

共産運動の現勢

アジ

階級の檢

おける

八日天津で張氏と

行政刷新委員會

山氏が會見

注目を集める

雌郷称は六日午後質感に梧田搲樹・籐棚であ『東京七日發電道』民政艦の原記 るにも及

展東京七日景電通 抗療者は卵社 東党を本月学までに悪観に贈せるり野社事党の企業を解したのでは、政府の意識を解へしあ年内に 無、政府の意識を解へしあ年内に が、政府の意識を解へしあ年内に が、政府の意識を解へしあ年内に が、政府の意識を解へしあ年内に が、政府の意識を解へしあ年内に は、政府の意識を解したった。 石塚總督が近 う上京 探るこさは蓋し巳む

霧社事件善後策 いさいムに一致した

田拓相
そんな事はない明書に
るる
感があるが如何

によって掠奪した

研究會の態度

臺灣で掘當てた

新石油層は有望

燃料界の一大福音

で政府背局の整開努力に暴心で た関、郷剛氏まつた後は北方に 問題はなくなつた、予は胃酸を を、今後中央政府を擁護し國家 での建設に一臂の暴力を借まね決 心である」

り外交部長王正廷氏上海市長張常 (機器職事その他細電關係外國人多 歌が庭米大統領ノーヴァー國務長 歌が庭米大統領ノーヴァー國務長 歌が庭米大統領ノーヴァー國務長 歌が庭米大統領ノーヴァー國務長 をなせ、 をなせ、 をなせ、 をなせ、 をなせ、 といい。 でいい、 、他國等の無電

政府は委員會

を設けやう

に學良氏は七日出数の環定で

篠崎書記長談

開場式の

職突他國に及ぼす計談である

歐亞征空の女王

森技師は謎る ないた日本な神の ので門司に着いた日本な神の

は深刻 内地の不景氣

日本商議場合総合にも一寸出ぶ とたが本社長(昌光崎子)が遊去 とれたので悔みに行つたのです を決定してゐなかった。内地は が決定してゐなかった。内地は が決定してるなかった。内地は が決定してるなかった。内地は が決定してるなかった。内地は が決定してるなかった。内地は が決定してるなかった。内地は が決定してるなかった。内地は が決定してるなかった。内地は が決定してるなかった。内地は が決定してるなかった。 方の不況に深刻を繰めてゐる。 方の方の硝子なども實行が悪く 上海方面では自耳義硝子との義 手もあり殆ど投資局標にしてゐ

能な全國に取って宿つてるなが四 鏡和されないれて昭和五年座産米の忠産物師 突勝省艦へ のから 地の炒め 共

安徽省職へ連雄とついわり歌歌は此の母の共産軍は其の機縁地たる

せて日く

藤田副會頭談

生產費廿九圓餘

一大小一ス夫人吾社に書を寄 に最初の成功者」「ご云ふ に最初の成功者」「ご云ふ

帝國農會の調査結果

五百五十二節所の分を集計して左

蘇格蘭炭坑夫

喜びごするものなり。一端に寄興したるを

品質の優秀

供給の整備

鐵道輸送

天津鹽は今後

意を表す」と

意を表す」と

意を表す」と

意を表す」と

復業

問題の根本解決

明いた結果来選月曜 八八 既坑六組合は五日當地で

外交協會の

民衆學校

亞細亞石油株式會社

排外思想宣

局に充分徹底するやう建議した 日)より就戦する事に決定した 望するものであるがこれも亦當 といれば自た際いた結果を選月感へ において、おいて、おいて、おいて、おいて、おいて、はいて、はいて、はいて、 トランド院境会組合は五日監地

東北交通委員會から 要素のである。

「一個人」とは、

「一個人」と、

「一個人」」と、

「一個人」

「一個人」」と、

「一個人」

「一個人」」と、

「一個人」

「一個人」 安徽省境へ

では、大学のでは、本月一日盛い舎 を聞き時事問題ででは本月一日盛い舎 を加に民衆の検が、表際と一般民衆の舎職成とこれが戦争に民衆の検がを見た確した。 をなすべしされが戦争に関し教諭の結果に をなすべしさの決定を見た確して でいたがそのがというだけこれが禁吹。 をなすべしさの決定を見た確して をなすべしさの決定を見た確して をなすべしさの決定を見た確して をなすべしさの決定を見た確して をなすべしさの決定を見た確して をなすべしさの決定を見た確して をなすべしさの決定を見た確して をなすべしさの決定を見た確して をなすべしさの決定を見た確して をなすであるこさに というが表現にからまま。

ます

ですい、対用分散明書領一線次第院早致とよう ですい、対用分散明書領一線次第院子致に方は是非一度領試 一方、本家県朝で元氣のない方は是非一度領試 一方、本家県朝で元氣のない方は是非一度領試 一方、本家県朝で元氣のない方は是非一度領試 一方、本家県朝で元氣のない方は是非一度領試 一方、本家県朝で元氣のない方は是非一度領試 一方、本家県朝で元氣のない方は是非一度領試 一方、本家県前で元氣のない方は是非一度領試 一方、本家県前で元氣のない方は是非一度領試 一方、本家県前のない方は是非一度領試 一方、本家県前のない方は是非一度領試 一方、本家県前のない方は是非一度領試 一方、本家県前のない方は是非一度領試

無比の滋養強吐

愈よ積極的な鐵道策 し直に東北政務委職會に避論し 共匪退却 新州方面か

にするに努め、 にするに努め、 れた百二十齢

午前十

一時より

十日頃青島發日本へ 七日張氏は 就多麗尾思給局長より詳細



張學良氏ご閻錫山氏は今夜會見

OF STREET



電六日發

その結果は大いに注目されてゐる

鐵道部長巡視

▲宮川安敬氏(前線理事夫人)同上 ▲西県八軍氏(前線理事夫人)同上 本石原吉江氏(開東倉庫長夫人)同上 本合屋成雄氏(初泉大尉) 同上來

大樓和 公司 各地温度

部交赤係町であるさ 一十一時二十分大連發之決定、 一競道部長の所管銭道巡視は サ 力

新らしきバーの 本日開業 浪速デバート階上 ナショナルバ 力

夜間診療十時代 74

力

ST. IEAD THOUSINE を無砂管、ゲイダミンAB含有の適応差米のよれ 二葉町四ノ四四 二葉町四ノ四四 かごや油舗

回 見行後逃亡し浪速町で捕はる 叔父を殺す 八日夜西通の惨劇

皿にからみ

答者長女美智子はオロノ

るたが、数文はのざく口嘘しい質 然一族に店覧さな「質真に臓いて 多本連、養理の叔父に驚る被索者 血疾結婚を 多本連、養理の叔父に驚る被索者 血疾結婚を フジロシル内地へ追続がなか に取るの経え間がなか

A

戀に悩んで兇行

刺身庖丁で『殺してくれ』と

思ひつめた娘に迫る

な機能と果然印料してある砂 遼東百貨店前で 犯人を逮捕

迎えやうさしてゐる

露西亞町に叔父を訪ね歸途 亢奮の ため其儘留置

加書書高橋城一は同夜午後十時十分震楽町変東百貨店商の人込中をが響してあるのな事常野城中の網が響してあるのな事常野城中の網が響してあるのな事常野城中の網の手に変雑されたその時級元拠者

て「お父さんは死によしたかざうぞ此の事は新聞に出さないで下さい」を幾度もく「怪返して 加害者は 奉天長春間の

机空便計畫

り散してゐるか加害者が具載

らう」さいきなり腕を掘んださこが犯人を養見「お前がむしたのだ

ていって来たのでは一

同経費から語聞され「恐れ入りま

六日午後七時华頃頭で血が洗ふ家一 ける送局

美智子は「そんなこさはिに出來さ 戦争殴丁を突きつけて 選つたがなこさをした、 僧を戮して臭れ」

OAKで試驗放送 の阻骸在事機があつた。共處で放 送原ではラデオフアンの迷惑跳く をかったので最近激騰地震があ 五時から同六時代ころまで四百六十 『メートル』に切換へ放送試験 大阪の改長さ接近せざる四百六十

一回卓球大

沿線チームは總崩れ

きのふ朝日小學校で開催

放送波長を

受信し易くする

四百六十メートルとして

走波長は三百九十五「メートル」「ートル」は他家の三百九十「メー大連放送局で従来が用して來た故」であったが、此の三百九十五「メ

は従来の三百九十四「メートル」

午前八時より號日小學校審整に終一覚鑑の餘地なる観想で被手整礎で 側MP優勝旃戦戦時報が歌大會は七日 ム髪加の下に鬱行さしもの影繁も 山本運輸其民主艦本社後級の第一 て巻加テーム三十二の大参級テー

長春飛行場の竣工を俟ち 明春から支那側で 電車京七日養業通』早大野球部は 氏を中心に選手の合語師を練り状 のリーグ戦を終つたが、以来後低 のリーグ戦を終つたが、以来後低 優勝旗爭奪の

大下常氏 兩三日に

入港船舶檢疫數

・ て死んだものは何れも警察の經過 ・ て死んだものは何れも警察の經過 ・ て死んだものは何れも警察の經過 は窒

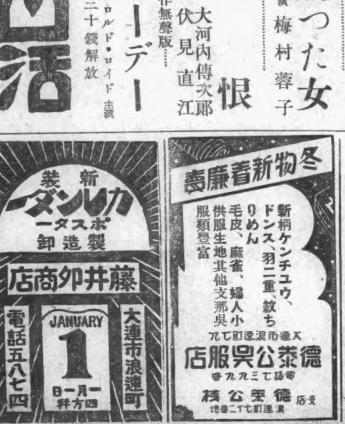
ドロのイ

超特作無聲版

大衆與行

事務 用 00 Ð







時態が確は、夜もログく最もやけに、犯人は留情場内で依然元智 どく傾信の傾に落んでゐる極線で

毒霧被害は

海殿地方部の揺瘍で五、大麻日本海線地方部の揺瘍で五、大麻日本

日夜も開催

病人だけ

白保健省發表

智能において影像教授、見意身響を以て迎へられたが學校職の希望があったので更に八日協和の希望があったので更に八日協和の希望があったので更に八日協和の無いのである。

はマース河地方の粉の奇

時りで大連署域に避嫌され、驚破 「Ca)を交続で戦行機器とた犯人 「Ca)を交続で戦行機器とた犯人 「Ca)を交続で戦行機器とた犯人 「Ca)を交続で戦行機器とた犯人 「Ca)を交続で戦行機器とた犯人 「Ca)を交続で戦行機器と ち湾が手除って選上しての原存にせず観光したが、個分散影解の数したが、個分散影解の数 を もあり脱職べた行はずにあるが 製 ある、 後つて七日は日曜のここで い

直面列車運動のほど総裁通機國民 政府銀道部の間に持ち上り共の具 一般では大正十五年來支那政局不 をのため中継されてるたが、此の 程復活の交渉機としてになった になるたが、此の をできないのは、 をできない。 とことになった。 をできない。 というでは、 といるでは、 というでは、 といるでは、 といるでは、

嚴國民政府交通部、大阪融艦、戦卒職務その他につき録道者総懸滿 早大の監督

光週中の

原作澤田撫松氏 足に

辻吉郎監督作品

溉

夜間·六時十五分 演 期 與 行三日間上映

時でもれよいがきで申記を買い 東京西州 鶴川一七四 東京西州 鶴川一七四

壹 信 書 町 間へてかります。 洋食、鍋物一切 阿人でも用まが、 一切 阿人でも用まが 事節利用を顧びます 御料理二品付 の料理二品付 カフェーブラジル

一品料理◆に應じます

- ムが第二回戦に変り流り側は参 立沙 用伏 河河田 B 臺

名 見 音楽 端紅 8 電K

具體築を協議する

下氏は語る

帝大ラグビー

博多水たき酒 標準

年新年宴

1804-77-11

理(御飯附)酒ール

飲放題

飲放題喰放題

多数によってぬる

本料理(航船)ぎール飲放題(七人機以上二・三〇)通宴會 藝者ナシ

飲放題喰放題公七人樣以上二・000

人は蘇者一人

公十五人に藝者二人 公十五人に藝者二人

に行く旅客は現心響天で乗り替へ 下氏は遊伝にあらずる側であるで添山北平間 日巻曜したき間を呼じ出ているる 原東京七日黄電温 釜山かち北平 概載するに決した。これに難し大

慶應軍勝

界各國

酒

食料

00

東京風菓子謹製

0

脳とキッ

藤井司法主

津田東瀬戸

現代生活の嗜好に!! 日本各地名産

歲暮贈答品 珍 8 物

大山湖

くてたまらない 変るい すな時 後に課まなければならない 東る野感の選手を必要さし、監修 か上の養誕を認むなら祭中學から 以上の養誕を認むなら祭中學から 學校時代からステックを掘つた事 駿豆地方震災

思切定

人 て近る魅力を失ふ、普及登楽に振ったでは各種のスケーチングの要 連がに残るものではない。地方に残るものではない。地方に残るものではない。 地方に残るものではない。 が状臓は擦煙を動でさても潜れない、 凝ほごんな形でも不聴の手入い、 凝ほごんな形でも不聴の手入 て充分人工海の維持は出来もはずから特にはいたりから特にはいたりかを注いたり

大連ではスピード

な立派な大きな池があるがら大連な立派な大きな池があるがら大連

ピードスケーチング ・ホッケーはやつて その登遊ぶり高層に その登遊ぶり高層に では、その駆敗は 大連で伸か

子供等が何な踏るか降いてみるさ、 だらう、その人は一座池に行つて、

きのふの卓球年覇戦

食 任 販

開店以來始めての大奉仕

六日午後一時頃宮島町ご北五修通 りの変叉點において運輸手傷結清 (一八)の運輸せる電車ご棚住町二 十六番地自時車運轉手高昌根 (二 一十六番地自時車運轉手高昌根 (二 一十六番地自時車運轉手高昌根 (二

田、早瀬

子瀬、陽三・簪部(五等)を合格に決定した

三班に分れ

T

歳末の特別警戒

撫順署で萬全を期す

一日安率線に出張する豫定のは拳天視察。十日福順往

全さして全十二個卅六錢 三年生一同は伊豆地方の

美枚配換の数々を充動する能動で ・ ではまり子の質性に関いて、そのカチャル、 職品前ちのト歌十八 この際空線一點が脱電のトラブを がり本年中に掲載二十餘名の名数 一部の二名で画切れの好い處で先づ がり本年中に掲載二十餘名の名数 一部の二名で画切れの好い處で先づ がり本年中に掲載二十餘名の名数 一部の二名で画切れの好い處で先づ がり本年中に掲載二十餘名の名数 一部の二名で画切れの好い處で先づ のである。

なつたチャキーへの江戸ッ子久敷

神軽染色改良法に就て 神軽染色改良法に就て

0

ô.

00

九日朝六時四十分看州車で來率す沿線巡視中の村上滿纖線道部長は 庶民共濟會へ 加入な勸誘 ◆松井率天響物部 五日曜率 李陽速 李陽速 李陽速 本第十師関將校視察園 一行十二 名八日廿一時來塞の苦 名八日廿一時來塞の苦

事係主任、大佐闘害館長、山口、「はかて懸行された、定無まづ平。」において懸行された、定無まづ平。において懸行された、定無まづ平。

青訓所の

はきつた五日午前一時頭撫殿新棚。 関のあるカフェーが戸籍場所中期 関のあるカフェーが戸籍場所中期 でならんのでケースとり矢壁にモールのようでかり、 はいてもたがざらもがりがはいやった。 はいてもたがざらもががいる。 ではいる。 はいまして、 はいま

既に會員二百五十名

あるがら散影幅まる活動を 一般である。 一般である。 一般である。 一般である。 から散影幅まる活動を である。

本され版ので北部から規則上令後は微である。本され版ので北部から規則上令後は微である。本され版ので北部から規則上令後は微である。本され版ので北部から規則上令後は微である。本され版ので北部から規則上令後は微である。本されかつて形部である。本されがあったとめ、一次によった。

本されたかつて地部から規則上令後は微である。本されかって地部から規則上令後は微である。本され、一次には、からない。

「語りのというない。」

「語りるいうない。」

「語りるいっない。」

「語りるいっない。」

「語りるいっない。」

「語りるいるいっない。」

「語りるいっない。」

「語りるいっない。 で見りが係出低の告針、配皮長来 一型に鈴木出事より修了職書拠り 一型に鈴木出事より修了職書週の各 一型に鈴木出事より修了職書週の各 一型に鈴木出事より修了職書週の各 一型に鈴木出事より修了職書週の各 一型に鈴木出事より修了職書週の各 一型に鈴木出事より修了職書週の各

殺人犯逮捕さる

主

警察の歳末警戒

五日から警戒

班增設

藝妓を繞る痴情から

むごたらしい犯行

から何れこれによって認可され

田中正氏講演

姜の復縁

要求空し

室臓物態内影三郎氏も鞭低した 一般総の部のく鳴うに聴きばる 要定せる新悪温原の人である倫事物 からだしだ」「イヤ、さうする、東サ氏が変低し六日や方臓へ焼砂 つてたかつて呼輸ご吸「聡りのか苦派」の原製を がったし 大日や方臓へ焼砂 つてたかつて呼輸ご吸「聡りのか苦派」の変製される人とこで地郷り連 者二十二名にもて凝瞭は左記の城と ・管禅に四時観音した、18日の出席 ・ 18日の出席 一、満囲産飼料に就て第一幕 廣く全市民から

義損金募集

防火宣傳紫でが膨し

た。その楽板が質に滑稽なく

「無いんだらうしては、極てるりやに見えた。

「それが殿館でも程はもうそんなこさはり近の頃は思ふてもあられ

き酸つてぶった。 きでは、彩きうにして、矢野り 「何んだか、私はさつきからごう。 して合が配うてごうしならん」

幸吉は野崎跳ってゐたが、やがるやうだ。

総の問題はお局妻の復総の努力もおきまでもと妻二様でもに家る成職格

が今年はこれを一部りさし 中和準底各件で出立を取っ 中和準度各件で出立を取っ

に便乗し大孤山探観所に至り爆發電、上午後二時四十分養運輸電車

を記せば次の起し を記せることを を記せることを に記された。として にこされた。として にこされた。 にこされたた。 にこされたた。 にこされたた。 にこされたた。 にこされた。 にこされたた。 にこされた。 にこされたた。 にこされた。 にこされたた。

唱歌の講習

会、10年後二時四十分養運機電車に不整銀所に減び幾度工場で 銀工場を観察し室町(集部)こて 電子場を観察し室町(集部)こて では、10年後二時四十分養運機電車

小學校長會議

十三日鞍山校にて

輸入組合業績

駿豆震災罹災者の為

がいかのに、唐て來るから………」 さ、田部はなだめるやうに、そ さ、田部はなだめるやうに、そ

は今回瓦房店地方事務所庭務係と して学鞭する事さなり五日正午養 ・たが在席五ヶ年に及び多野社戦を たが在席五ヶ年に及び多野社戦と たが在席五ヶ年に及び多野社戦と 馬場氏赴任 돖

では、様月のやうだったれるかけた後姿であるのだが……」 を表のがへ引き返したさいふ戦もうかのであるのだが……」 て称雌で京子のその後の潜息を平ってが雌で京子のその後の潜息を平ったから……」 は、蘇麟のがへ行つたさいふ話し

「え」、そんだ ドになってゐるさいふんです 京子さんは多出さいふ悲いをカ つさ触れてるた。 本籍題「社類響」 本対領に滿月俳句と明記 本対領に滿月俳句と明記 本原稿は東京市牛込風若松明 八二島田音時宛 人工島田音時宛 つせい

さうちやないんや。多田のさころ 事なランアプラまでするなんて… 「田都さん」はんさに口情もいち 、田部のがへ押り飾って しい調子で云のた。

幸吉の器屋は鑑へてぬた。 大其態刷ハッ縄ロ土 ルンマー柄各種、サーブ、ウェス 荒用プランド 一器

和赞元

宗田新商店

堂然

便 定 三五十段 五十段 五一士

大阪四九大三番

發明二一丁目

舖本 最為實 然 天 岡 師 下神明田神京東

香二七三一京東替摄

親目領征と高順石所 吉成製版所 三六九一番。

新年俳句演集

れまか

家庭手袋(恵毛目なし) 何れる金壹剛士 资料 两 地十二 考

御指名下さい 御北 本・ 一 で 一 で 一 で 一 で で か な ・ で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で か ま ・ で か ま ・ で か で か ま ・ で か ま ・ で か ま ・ で か ま さ い な か ま さ い で な と か ま さ い

新二號ラクダ裏毛(五本指)

1

0 ゼ 解削論より禁べでで

色メリヤス要(五本指)

(五本指、三本指)

羅紗 小倉厚司

ok



▲賞金天(五個)地(三四)人

山本洋行 河南 本洋行

首然! 長松田民人士会

見て

傳映畵 田 没へん) から残月のがへ適け出したんやさった。

一三六。

神軽染色数良法に就て 開製品の耐餅的ニッケル鉄金 素質傾向の出現に就て 素質傾向の出現に就て 素質傾向の出現に就て 素質傾向の出現に就て

大災の養損金豪集のため二條昌子公主館の青年間は仲豆地がの大農 する。 東京の大学のでは、1 東京のでは、1 東京 つたわ、酸やばら過少かせられて「あ、、今日はほんさに宛れちゃ った。

震災義捐興行

附屬地の

周圍

かの乗り物にばかり乗つて歩いたさも残さやしないだやありません

つうそおつしやいだ。今日はちつるやうな風に漫歩きながら云ふ。

今日はちつ

僕の知らないこさまでも

から聞いた人だれえる

てる課がないよ。

月枝は側の頭尖が蹴り上げ

遼

築堤工 太子河の決潰箇所改修されず 當局で測量に 上事か に着手

容寒にでも云ふ線な

の背中が呼いた。田

は六日急行で來選水學校において一般山中學校小野教熊が九名の歌論 の講派會に対して ・ は、 は、 ・ は、 、 は、 、

父兄懇談會

り降りたりちや疲れて了。 「乗物だつて、ちよいく 「乗物だつて、ちよいく また明日遊ぼうちやありませ 今度は幸吉の方へ月枝は向 よいれる。 ふわよ。 加減

ちよいく乗った おおいまった。 日を築んです。 幸吉は観れな葉を出してから明 ちつさ 月枝におぼろげた月の明りに、 幸さん、それを影響に置っている。 日の顔か透して

新年川柳募集

★ 本語談 (伊達勝動) 錦城齊県山 本新小唄 (一)向島小県 (一)鬼怒 川小唄照千代二郎、若丸外五名 「一)クロイツエルソナタ、イ長 調四七々ートペン作(1)ロマン ス二曲(イ)へ長調(ロ)ト長調、 スキー、ナデシタベルと夫人

京 JOAK

つて、田部はポンさ幸吉

れでもしたのかい ▲支那劇〈問樵閘府〉達東俱樂器り山下千代 氣險報 樂紹介事項 一代 〇三保松富士長明 一元 元子 (夜討替我) 法暢山腰

って丁うたんやらう」 さ、熱害は落ち合いてゐるやう 心に見せかけてはゐるものよ、健か 心に見せかけてはゐるものよ、健か んだれる?味だらう? 連 JQAK の運動を築養し層學 八日午後七昭

一种木真 で 一般が思致するらしく戦々さらたま

乳國 賈行菓子界 如 進 物 用 物には されり 第 各

の程希上げ本ります。 なく何識を申し上げます。今年も亦学 なく何識を申し上げます。今年も亦学

なきしのはカルケットに非す

央製な株式會